

# 自分勝手な行動で都合よく解釈をした末に

---

F・B 運送業 (50代)

9月の連休最終日の深夜、私はスーパーの配送センターにトラックで納品に向かっているときに事件を起こしました。

片道4時間かかる国道を何回も通っていたため、慣れがあり、緊張感に欠けていました。

この事件を起こす半年前から運転中にスマートフォンを使うことが多くなっていました。

当初は高速道路を運転中にスマートフォンを使いながら走行していましたが、次第に事故を起こしていないから大丈夫などと都合よく解釈し、やがて一般道を運転中もスマートフォンを使うようになりました。

普通は危険だから運転かスマートフォンの使用をやめようとするのに、何も起きていないから大丈夫などと逆にスマホによる、ながら運転の時間が延び、挙句に進路前方の道路上にしゃがみ込んでいた男性の発見が遅れ、この男性と接触してしまいました。

後になって、もし事件現場で救護活動をしていたら、被害者を助けられたかもしれないと思いましたが、この時は気が動転してしまい、冷静な判断ができず、その場を走り去りました。頭の中では、あれは人ではなく、動物を踏んでしまったと考えることで、自身の罪悪感を和らげようとしてきました。

納品終了後、事件の証拠を見つけ、その部分を洗車し、さらにはドライブレコーダーのデータを消し、証拠を隠滅しました。この時は事実を認めたくないという気持ちが働いてしまいました。翌日の夕方、仕事に私は警察官に連行され、さらにその翌朝、逮捕されました。今となっては、証拠を発見したときにきちんと警察に通報していればと後悔しています。

保釈後、ご遺族様のところへ訪問し、謝罪をしました。しかし、ご遺族様は涙を流しながら被害者との楽しかった思い出話をされました。この時、私は取返しのつかないことをしたと思い、土下座をしたまま「申し訳ございません。」とただ頭を下げ続けました。

ご遺族様のもとを帰る際、私はご遺族様に「これからどうしていくのか手紙で知らせて欲しい。」と言われました。しかし、私はこの問いかけに今も答えることができず、未だに手紙を出せていません。

事件後、私は職場の人と顔を合わせることができず、退職しました。母親からは「なんてばかなことをしたのだ。」と怒られました。家族に犯罪者がいて肩身の狭い思いをさせてしまっていますが、悪質な事件を起こした私を見捨てず、支えてくれていることに本当に感謝しています。

事件から3か月後、私は懲役2年6月の判決が言い渡され、現在、刑務所に服役中です。軽率で身勝手な都合のよい解釈をし、ルールを守らなかったために防ぐことができた事件を起こしてしまい、被害者様、ご遺族様、仕事関係の皆さま、私の家族など多数の方々に多大なご迷惑をお掛けし、申し訳ないと今は思っています。

そして、生涯、私のできる償いを続けることを誓います。